

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1083 健康相談事業(負担金分)	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本施策	01 10万市民の健康を維持する	目	01	保健衛生総務費
		細目	240	保健事業
行革大綱の重点事項番号		1・6	細々目	52 保健相談事業(負担金分)
担当部課	コード	703000	担当者氏名	眞井 雅子
	名称	大山田支所住民福祉課		連絡先

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	40歳以上の市民	※対象件数
成果(どうする)	健康に関する相談、血圧測定、検尿や身体測定をすることにより、市民自ら健康管理に対する意識と能力が高まる。	
根拠法令・要綱等	健康増進法・高齢者の医療の確保に関する法律	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	①ライトピア健康相談の開催 ライトピアおおやまで、保健師が健康管理の相談、血圧測定や検尿などを行い個々の健康管理意識と能力の向上と介護予防を目的に、毎月1回開催した。 ②電話での相談 ③出前講座開催時の健康相談	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
ライトピア健康相談の開催回数		回	目標	12	目標	12
			実績	12	実績	12
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
ライトピア健康相談参加者延人数		参加者延人数を指標としました。	人	目標	120	目標	120
				実績	34	実績	59
電話・その他健康相談参加者延人数			人	目標		目標	50
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	22		22		29		29	
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0						
一般財源	22		22		29		29	
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)		742		742		749		749

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
【予算の繰越がある場合、繰越の種類】		参加チラシの配付方法を託送から個別訪問に変更して参加者の増加に努める。
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
受益者負担を求められることができる事業である。		
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	参加者のニーズを把握して、事業内容など検討して参加者の満足度を高める。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 ライトピアでの月1回健康相談を実施するとともに、出前講座等の機会に希望があれば血圧測定、相談を行った。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中村 崇
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 診療機関から離れている上に交通手段が行政バスしかなく、そして一人暮らしの高齢者が多い地域であるので、自分の健康は自ら管理するという意識づけを促し、疾病予防や介護予防を図るために必要な事業である。
現時点における課題、その他	地域の対象者が限定されているため、参加者が固定化の傾向にある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	H22から老人クラブを対象にした出前講座等、他の事業とも併せて実施していく。